

山林所有を引き継ぐ人を決めていますか？

引き継ぐ人を決めていない	36	43%
引き継ぐ人を決めている	48	57%
合計	84	100%

引き継ぐ人を決めてある場合

→所有の山林を引き継ぐ相手はどなたですか？

多忙で考えられない	1	1%
まだ情報が不足	6	6%
財産価値を認められない	13	12%
せっぱつまっていない	14	13%
当分は自分で管理する	4	4%
相談相手がいない	6	6%
身近に引き継ぐ相手がいない	12	11%
その他	10	9%
無回答	42	39%
複数回答	合計	108

引き継ぐ人を決めていない人が4割弱、決めている人が5割強となっている。多くの場合で引き継ぐ人が決まっていない状況がある。

引き継ぐ相手はこどもが7割、親戚が1割。知人へという回答は見られず、地縁よりは血縁のある人に引き継いで欲しいという思いが感じられる。誰でもいいから譲りたいという意見も多い。登記簿は33%の人で準備ができています。公図・現地確認については各1割程度となっている。引継者においても、実際に山を確認していない現状がある。

→引き継ぐための資料は準備されていますか？

登記簿	28	33%
公図	9	11%
現地確認	11	13%
無回答	51	60%
全体	85	

引き継ぐ相手をまだ考えていない場合

→決めかねている理由はなんですか

多忙で考えられない	1	1%
まだ情報が不足	6	6%
財産価値を認められない	13	12%
せっぱつまっていない	14	13%
当分は自分で管理する	4	4%
相談相手がいない	6	6%
身近に引き継ぐ相手がいない	12	11%
その他	10	9%
無回答	42	39%
合計	108	

→引き継ぐ相手について検討するために必要な情報は？

森林林業をめぐる情報が必要	6	13%
日南町サイドで受入体制が整うこと	21	47%
その他	6	13%
無回答	12	27%
合計	45	

引き継ぐ相手を考えていない理由としては、財産価値を認められない事、せっぱつまっていない事、身近に引き継ぐ相手がいないことが上げられている。身近に引き継ぐ相手が居ないという回答も1割強ある。引継相手について検討する為には、日南町サイドでの受け入れ態勢の整備を求める意見が多い。

日南町サイドで、受入可能になった場合について

→引き取り条件(権利の移転の場合)について

相応な金額	21	25%
金額にはこだわらない、期待しない	34	40%
その他	3	4%
無回答	26	31%
合計	84	

売買の金額については、金額には拘らない、期待しないとする回答が40%と最も多い。ついで相応な金額の25%となっており、単純に財産としての売却ではなく、適正な管理をしてくれる所に引き取って貰いたいと考える人も多い。